

熊本市 感染症発生動向調査 速報

熊本市感染症情報センター
 TEL (096) 364-3189

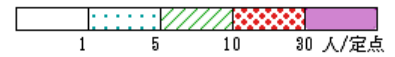
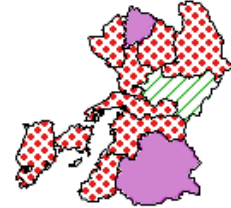
1. 注目疾患の動向

インフルエンザは流行が続いています。

第11週の熊本市の定点医療機関あたりの報告数が、16.64(定点数25ヶ所、患者報告数416人)と減少しましたが、流行はまだ続いているので注意が必要です。季節性のインフルエンザには、A/H1N1亜型(H21に流行した新型インフルエンザ)・A/H3N2亜型(香港型)・B型の3つの型があります。一度インフルエンザにかかった方でも、別のタイプのインフルエンザウイルスにかかる可能性がありますので、油断せず感染予防策を徹底して下さい。

県内の発生状況 H26年11週

【インフルエンザ】



感染性胃腸炎が増えてきています。

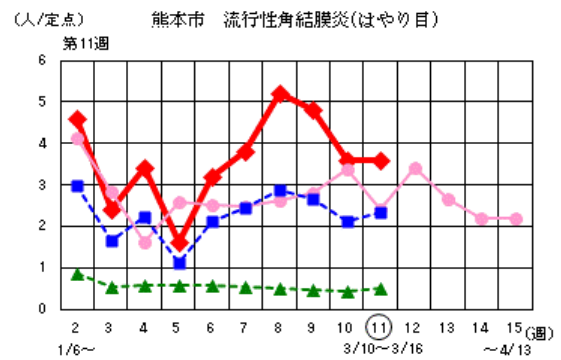
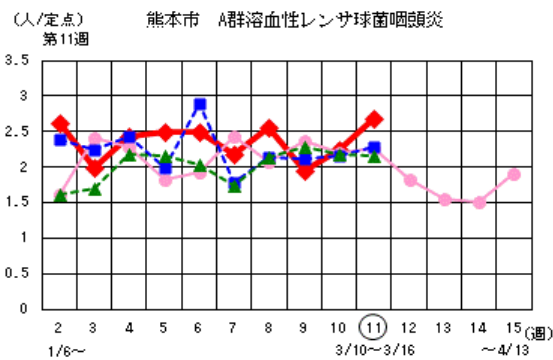
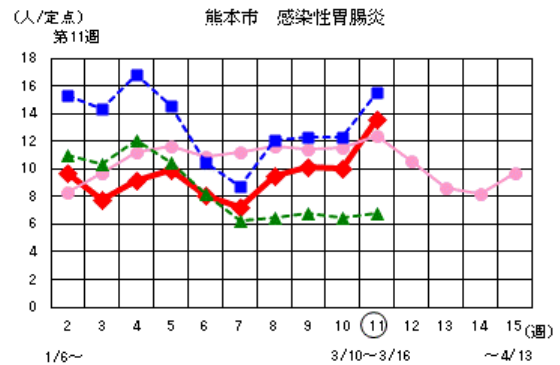
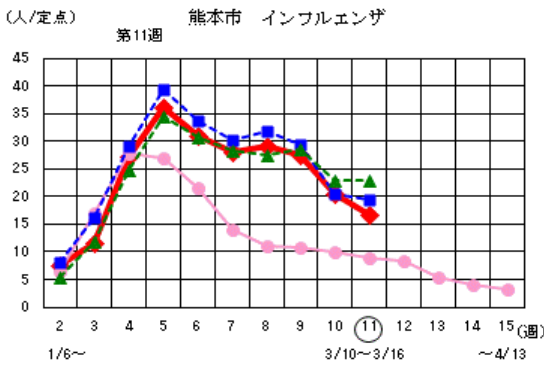
今週の感染性胃腸炎の報告数は218件と増加しました。これから春にかけてウイルス性胃腸炎が増加する時期を迎えます。

食品から感染する場合と、人からの感染(ウイルスが手などに付いて口から入る、吐物の飛散など)でうつる場合があります。

症状は原因となる病原体や患者の状況により異なりますが、発熱、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛などがあります。子供の場合元気がなかったり、不機嫌な状態が続く時はすぐに主治医の診察を受けてください。家庭では脱水を起こさないよう、水分補給に努めましょう。最も有効な対策は手洗いです。

疾患名	先週	推移	今週
1 インフルエンザ	510 人	↓	416 人
2 感染性胃腸炎	160 人	↑	218 人
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36 人	↑	43 人
4 流行性角結膜炎	18 人	→	18 人

↑	↓	↘	↗	→
急増減	増減	微増減	横ばい	



—●— 熊本市今年 —●— 熊本市平年
—■— 県 —▲— 国

平年とは、過去5年間の平均値を表しています。
 定点とは、熊本市内の指定医療機関のことです。